

## 令和5年度事業報告

### 事業の概要

定款第3条の目的である「学術研究の助成及び知識の普及を図る」ため、下記諸事業を行った。

#### 1. 研究等助成事業（定款第4条第1号）

別添資料 I-1

##### (1) 海外渡航費 2件 200,000円

「生命科学分野における遺伝学に関する基礎的、学際的研究及び関連する諸技術等の研究」のため海外渡航費助成の公募を別紙募集要項により行い、選考委員の選考結果に基づく審査により、別紙のとおり海外渡航費の助成を行った。

##### (2) 研究会助成費 1件 67,672円

若手研究者を奨励する「第33回モロシヌス研究会」に助成を行った。

#### 2. 講演・講習会等開催事業（定款第4条第2号）

別添資料 I-2

##### (1) 三島市と遺伝学普及会は連携協定締結事業として下記の講座を開催した。

###### ① 「子ども向け遺伝学講座」：7月26日開催

講師：佐藤 豊 「植物はどうやって成長するの？～イネの形ができるところを観察しよう～」  
市内の小学生39名が参加

###### ② 「遺伝学講座・みしま」：1月13日開催

講師：木村 暁 「見事な建築物である私達の細胞-AI を使って加速する細胞の理解-」  
久保 郁 「透明な魚で解き明かす脳のふしぎ」  
ポスター発表（13件）

##### (2) サイエンスカフェ「寺 de サイエンス」を、12月1日に蓮馨寺にて開催した。

講師：斎藤成也「ゲノムからみた日本人の起源」  
神澤秀明「古代人のゲノム解析から見た人類史」  
Zoom 参加120名（申込142名）、現地参加39名

##### (3) ヴァーチャル・インスティテュートを行った。

#### 3. 遺伝学に関する知識の普及と向上をはかるための事業（定款第4条第3号）

別添資料 I-3

##### (1) 雑誌「遺伝」編集委員会において、雑誌「生物の科学「遺伝」」の編集を行い、隔月6冊を株式会社エヌ・ティー・エスより下記のとおり発行した。

「生物の科学「遺伝」」

2023年 5月号 特集「花ハス：歴史と最新研究-人とのかかわりを紐解く」他

2023年 7月号 特集「トリ胚は「形の魔術師」だ

- トリの卵から形作りの謎を探る」他

2023年 9月号 特集「希少野生動物の生息域外保全」他

2023年11月号 特集「微生物の集団性と社会性の創設」他

2024年 1月号 特集「形態進化研究最前線」他

2024年 3月号 特集「温度・機械刺激受容の最前線」他

##### (2) 国立遺伝学研究所の協力により、(株)エフエムみしま・かんなみにおいて普及会放送事業「きゅんです！サイエンス」を実施した。

#### 4. 遺伝学に関する教育資料の頒布事業（定款第4条第4号）

教育研究資料の頒布等を下記のとおり実施した。

・冊子	「遺伝研のさくら」6版	288冊
・絵葉書	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕	11部
	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅲ〕	14部
	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕 + 〔Ⅲ〕	9部
・桜ストラップ		69個
・桜キーホルダー（半兵衛）		21個
・LED付さくらキーホルダー		63個
・さくらマグネット		77個

#### 5. 動植物に関する優良品種の普及事業（定款第4条第5号）

(1) 変化アサガオの種子及び絵葉書「国立遺伝学研究所のアサガオ」の頒布を行った。

・変化アサガオの種子	2191袋
・変化アサガオ絵葉書	15部

#### 6. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第6号）

(1) 国立遺伝学研究所の委託を受けて桜樹木維持管理及び接木事業を行った。

別添資料Ⅰ-4

### そ の 他

#### 1. 維持会員

法人の目的を達成し、健全な事業活動を維持するために必要な財政基盤を増大するために維持会員の募集を行った。

個人会員2名の入会の申し出、個人会員2口の増加があった。

令和6年4月1日現在 団体会員 9社 11口 個人会員 8名 15口

#### 2. 遺伝学振興基金

令和5年度中にはありません。

#### 3. 寄附金

(1) 令和5年12月に草野俊子様より一般寄付金として5千円の寄付があった。

※所属研究団体日本遺伝学会の事業報告書を添付書類としてつける・・・・・・・・別添資料Ⅱ